

欧州の経営者ら「カイゼン」学ぶ

浜松の企業など視察

外国人観光客の受け入れ事業を行うモカ・チャイ(浜松市中央区)やLPガス販売のエネジン(同)などをつくる浜松・浜名湖テクニカルビジットプロジェクトは3日、欧州など6カ国の経営者らが市内企業を視察するツアーを行った。

日本の「カイゼン」を学びに来た27人が同社と自動車部品のソミック石川豊岡工場(磐田市)を訪ねた。エネジンでは、藤田源右衛門社長が労働環境の改善や合理化の取り組みを紹介した。約5万戸のガスメーターの設置場所を顧客管理システムに登録し、年間約4千時間の作業時間削減を図った事例などを解説した。

同プロジェクトは2021年から、県西部の企業などへの視察や研修ツアーを企画している。



エネジンの取り組みを聞く参加者
＝浜松市中央区のエネジン

2024年(令和6年)4月6日(土) 静岡新聞